

令和6年度秋の全国交通安全運動表彰者

秋の全国交通安全運動に伴う表彰伝達式を9月24日高森警察署にて行いました。



管区連名表彰 優良事業所
阿蘇農業協同組合高森支所



交通栄誉章 緑十字銅章 交通功労者
大塚 孝勇



永年無事故運転者 40年表彰
都 信一

第69回熊本県公民館大会・令和6年度熊本県社会教育研究大会 合同大会阿蘇地区大会

令和6年9月25日(水)に、『人が集う』『人に学ぶ』『人と人を結ぶ』社会を目指して』を大会テーマに、「第69回熊本県公民館大会・令和6年度熊本県社会教育研究大会合同大会阿蘇地区大会」が西原村総合体育館で開催されました。本大会は、公民館活動や社会教育に関する実践事例の発表を通して、地域の社会教育活動をより充実させるために毎年開催されています。

今年、本町が約1年間の準備期間を経て、実行委員会の事務局を担当しました。当日は、県内の各市町村から450名の参加があり、総合司会を高森町地域おこし協力隊の上 琴絵さん、一之瀬 緋慧さんが務めました。講演では、本町の公民館建設に企業版ふるさと納税で寄付いただいた経緯もあり、(株)熊本コアミックス代表取締役社長 持田 修一氏が「エンタメ業界と連携したまちづくりからみた公民館の意義」という演題で、コアミックスで展開されている事業や本町での取組、さらには公民館活用の意義について講演されました。アトラクションでは、日向伝承阿蘇ひよっこ会による「ひよっここ踊り」や上町向上会による「高森のにわか」が披露され、会場が笑いや和やかな雰囲気になりました。

また、阿蘇郡市の3市町村の事例発表があり、本町からは、健康推進課介護保険係 代宮司 猛係長が、「健康寿命の延伸に向けた公民館の活性化支援」という事例テーマで、通いの場の立ち上げや、現在の取組の様子等を発表されました。

講演や事例発表を通して、公民館には、地域住民の交流の場、地域課題の解決の場、災害時の避難所などの役割があることを再認識するとともに、学びの多い有意義な大会となりました。



持田 修一氏の講演の様子



総合司会者：(左より)一之瀬 緋慧さん、上 琴絵さん



「ひよっここ踊り」を披露する「日向伝承阿蘇ひよっこ会」の皆様

令和7年度 町内保育所・認定こども園入園手続き

町内保育園・認定こども園の継続または新規の入所を希望する場合、子ども・子育て支援法等に基づき、いずれも手続きが必要となります。

引き続き入所希望する場合は、現在通園中の保育園・認定こども園を通じて、『現況届兼施設利用申込書』を11月上旬にお渡しいたしますので、提出期限までにお手続きをお願いします。

●書類提出期間は、

令和6年11月15日(金)から
同年12月27日(金)までです。

※期間内に提出がない場合は入所をお断りする場合がございますのでご了承ください。

その他、入所手続きに必要なもの

- 施設利用申込書……1枚(児童1人につき)
- 家庭状況申告票……1枚(児童1人につき)
- 就労・看護証明書(父・母等それぞれ)
- 課税等がわかる書類(課税証明書または源泉徴収票)
※新規入所の方で令和6年1月1日時点では町外に住まわれていた方(ただし、マイナンバーの記載があれば、課税証明書等は必要ありません。)
- 家族のマイナンバー(個人番号)が分かるもの

※詳しくは下記までご連絡ください。

新規入所申込書の配布場所：高森町役場 住民福祉課
☎ 住民福祉課 子ども未来係 ☎0967-62-2911

お願い

押印、マイナンバーの記載漏れが多くなっていますので、今一度ご確認のうえ提出してください。

高森町パパママ応援・在宅育児支援手当の拡充について

令和5年9月から保育園等に通わずに自宅で子どもを育てている保護者の皆様に子ども1人につき月1万5千円の在宅育児支援手当を支給しているところですが、この度、在宅育児支援手当の見直しを行い、3歳未満の子どもの在宅育児支援手当を拡充しました!

☎ 住民福祉課 子ども未来係 ☎0967-62-2911

【 拡充内容 】

変更前	変更後
一律 月額1万5千円	3歳未満の子ども 月額3万円
	3歳以上の子ども 月額1万5千円